

令和5年7月3日

## 地域密着型サービス 令和5年度第1回運営推進会議 報告書

施設名：NPO法人益田自立支援センター えびす

施設種類：地域密着型サービス 運営推進会議

会議開催日時：令和5年6月29日（木）13:00～13:50

開催場所：えびす 会議

出席者：

利用者	1人	利用者家族	1人
地域住民の代表	1人	地域包括支援センター職員	1人
益田市職員	1人		
施設（理事長、管理者、施設職員）			3人

### 【次第】

- 開会のあいさつ
- 出席者の自己紹介
- 理事長あいさつ
- 事業所の活動状況報告
- 意見交換

### 【活動状況】

#### ○実績報告

4月：1名 5月：1名 6月：2名 新規利用開始

#### ○活動内容

- ・創作活動（鯉幟、紫陽花折紙）マグネット釦、編物など
- ・フルール益田の農園にてミニトマトの収穫等
- ・ウォーキング、瑞風見学、海岸散策など

○「100歳までやりたいことをやろう」を活動方針として取り組んでいる。

#### ○体験会実施状況

- ・4月当初は半日の短時間開催を実施。
- ・5月以降、昼食を挟んで5時間程度の体験会を実施。
- ・お試し初回から3回は昼食代650円のみ。

○介護認定手続きに時間がかかる、また、重複して利用しやすいように、保険外サービスでの利用を検討。チラシを配布し呼びかけ、利用者増に繋がるように動いている。（保険外サービス費用1,500円：昼食、送迎、活動費含む）

### 【意見交換】

- ＜利用者＞ ・出かけることが好きなので、楽しく参加している。
- ＜家 族＞ ・高齢者サービスの利用が初めてで、わからないことが多いので、詳しく説明して欲しい。
  - ・活動の様子など、家族にもわかるような情報発信をしていけば、利用につながると思う。（ライン利用など）
- ＜包 括＞ ・サービスの特色を出していかないと利用者増にならないので、工夫が必要だと思う。
- ＜地域住民＞ ・コロナで外出の機会が減っている。特に男性は他の集会でも参加が少ないので、中々難しい。地元を使うのに抵抗があるのか？
- ＜行 政＞ ・運営推進会議の意義の説明。サービスの透明性を確認するために実施を義務付けているもの。

### 【その他】

- ・次回の運営推進会議は 令和5年12月に開催予定。